

# 令和8年度 学校経営計画書

## 1 スクール・ミッション

東部地域唯一の単位制多部制の高校として、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育課程を通して、個人として自立し、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

## 2 目指す学校像

### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(卒業までに育成を目指す資質・能力に関する方針) ～三島長陵高校は校訓「自律・創造」のもと、次の4つの力の育成を目指します～ ・自分で考えて判断し、自分の「強み」を生かして主体的に行動できる力 ・人とかかわる中で多様な生き方を認め、他人を思いやり、尊重できる力 ・様々な学びや経験の中から新たな価値あるものを生み出し、社会に貢献できる力 ・自分自身と母校(三島長陵高校)に誇りをもち、生涯にわたり自分を磨き続ける力	(教育課程の編成・実施に関する方針) ～三島長陵高校は単位制多部制の特徴及び立地の良さを生かし、次のような学びを行います～ ・少人数授業の実施や学校設定科目の設置などにより、必要な生徒に基本的な学力の習得に向けた「学び直し」を行います。 ・柔軟な履修制度(科目選択)により、生徒の置かれた環境や生活スタイル、特性に応じた学びの機会を創出します。 ・個に応じた適切な支援体制の構築により、生徒の学習や活動に取り組む意欲を向上させ、希望する進路の実現につなげます。	(入学受け入れに関する方針) ～三島長陵高校は次のような人を求めています～ ・学校や社会のルールやマナーを守る人 ・自分で考えて判断し、自分の「強み」を生かして主体的に行動することを目指す人 ・多様な生き方を認め、他人を思いやり、尊重できるようになることを目指す人 ・確かな学力を身につけ、「創造」とおしえて社会に貢献することを目指す人 ・自分自身を大切に、さらに三島長陵高校の学習環境を大切にすることを目指す人

### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自主的、自律的に学ぶ姿勢を育て、確かな学力を身に付けさせる。
- イ 基本的な生活習慣を確立させ、自立心と社会性を培う。
- ウ キャリア教育を通して、一人ひとりの生き方を確かにさせる。
- エ 心身ともに健康で、他を思いやる心、豊かな感性を育てる。
- オ 東部の生涯学習拠点として他機関と連携して地域の要請に応えるとともに、学校の魅力化を推進する。
- カ 適正な事務処理及び働き方改革、業務改善によりワークライフバランスを充実させる。

## 3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	自主的・自律的な学ぶ姿勢の育成と、確かな学力の定着	・個に応じた指導による学習支援	・少人数授業、習熟度別授業、TT等による授業実施 ・補習・学習相談等の実施 ・丁寧な学習指導・修得を目指した履修指導	教務課 進路課 各教科 HR担任
		・生徒一人一人の学力の把握 ・少人数授業を生かし、生徒が自分の「強み」を理解し進んで力を伸ばそうとするための授業改善 ・学力育成・定着のための対策の推進	・年度当初に実施する諸検査及び教科科目の小テスト等で生徒一人一人の学力を把握し、それに基づいて授業改善に取り組む	教務課 各教科
			・授業のユニバーサルデザイン化と生徒の主体的な学習の推進を目的にICT機器を積極的に活用して授業改善に取り組んだと答える教員90%以上(令和7年度87.5%) ・全教員の授業相互参観の実施(年1回以上) ・授業評価で授業がわかりやすいと答える生徒90%以上(令和7年度88.1%)	研修課
			・生徒の実態に応じた教育課程の編成と生徒の進路希望に応じた適正な履修指導 ・校内(全体・チーム)研修の実施(10回)	教務課 研修課
イ	基本的な生活習慣の確立と、自立心と社会性の涵養	・基本的な生活習慣の確立を目指す自己管理能力の育成と家庭との連携	・家庭連絡や定期的な出欠情報の提供(毎月) ・各授業の欠席、遅刻の減少を進め、履修率70%以上(令和7年度69.1%)	教務課 HR担任
		・規律と責任を重んじ、社会に貢献する心の育成	・3、5、7限の校内巡視による時間厳守の呼びかけ(全教員、通年) ・進んで挨拶ができると答える生徒75%以上(令和7年度69.0%) ・毎朝の登校指導、公共マナーに関する働きかけ ・日常清掃や草花の育成等、環境美化活動の実施により、教室等校内がきれいだと感じる生徒の割合90%以上(令和7年度87.7%)	生徒課 全教員 生徒課 全教員  保健課

ウ	キャリア教育を通して、一人ひとりの生き方の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に誇りを持ち生涯自分を磨き続けるようになるための各部・年次に応じた計画的な進路指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習、キャリアガイダンス等の実施（9回）</li> <li>・担任を軸とした適切かつ個に応じた進路指導、面談を通じた進路実現への道筋提供</li> <li>・進路指導が子どもへの進路実現のために役立っていると答える保護者 85%以上（令和7年度 83.4%）</li> </ul>	進路課 HR担任
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い進路に対応した指導体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職及び大学進学指導力向上のための連絡会議</li> <li>・就職者への個別支援、求人依頼企業との関係構築</li> <li>・「進路のしおり」の改善、「進路だより」の発行</li> <li>・リベラ・ヒューマン・サポート、青少年就労支援ネットワーク静岡（「ほっとカフェ」の運営）等のNPO法人との連携</li> </ul>	進路課 教頭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外の教育資源を活用した仕事観の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による講話・実習の実施</li> </ul>	進路課
エ	心身とも健康を、他にやるべき豊かな感性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の個性・「強み」を理解して、尊重し伸ばさせるための社会性や協調性の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを活用した個に応じた細やかなカウンセリングの実施（通年）</li> <li>・「相談室だより」の発行（9回）（令和7年度 11回）</li> <li>・バッテリーテストを用いた初期指導の充実</li> <li>・「保健だより」の発行（9回）（令和7年度 11回）</li> <li>・授業、HR活動、部活動、委員会活動などを通じた学校生活全般において、自己と他者を共に大切にできる人権感覚を持った生徒を育成するための校内研修を実施する。</li> </ul>	相談室 相談室 保健課 研修課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修、講演会の実施</li> <li>・特別支援学校及び通級学級（中学校）への視察</li> </ul>	研修課 教頭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の整備と支援体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書だより」の発行（9回）（令和7年度 10回）</li> <li>・図書室を利用したイベントを実施し、図書室利用者数の増加を図る。</li> <li>・PTA 花いっぱい運動による花壇や中庭等美化活動（2回）</li> <li>・PTA、後援会等の文化祭や学校行事への支援（3回）</li> </ul>	図書課 図書課 総務課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造性を育成するための主体的な活動の奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導により、部活動に満足していると答える生徒 90%以上（令和7年度 87.0%）</li> <li>・生徒主体の文化祭を実施し、文化祭に満足していると答える生徒 70%以上（令和7年度 60.0%）</li> </ul>	総務課 各顧問 生徒課
オ	東部の生涯学習拠点としての他機関との連携と学校の魅力化を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習的機能の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目履修制度の充実、広報</li> </ul>	教務課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎を共用する他機関等との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送大学、静岡中央高校通信制課程及びふじのくに中学校との連絡会議（毎月）</li> <li>・他機関との連携による継続した学び（ふじのくに中学から本校へ、本校から放送大学へ、など）についての調査、研究</li> </ul>	教務課 事務部 教務課 副校長 教頭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校広報の推進と情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・39メールによる的確な情報発信</li> <li>・学校案内や学校紹介の改善（毎年）</li> <li>・生徒による出身中学校訪問</li> <li>・学校見学、個別説明を希望する保護者や生徒への丁寧な説明と対応</li> </ul>	副校長 総務課 副校長 副校長 教頭
カ	適正な事務処理及び働き方改革、業務改善によるワークライフバランスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令を遵守し、適正な予算執行と正確・迅速な事務処理を行い、学校の特色化を図る。</li> <li>・教育環境の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査での文書指摘事項ゼロ</li> <li>・適切な窓口及び電話対応（毎日）</li> <li>・施設、設備の安全点検（毎月）</li> </ul>	事務部 事務部 事務部 総務課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・終業時間の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の開室（生徒登校時毎日）</li> <li>・週1回の定時終業を実施する</li> </ul>	事務部 図書課 副校長